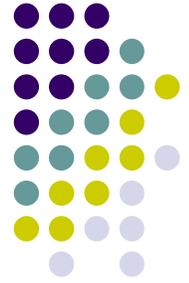
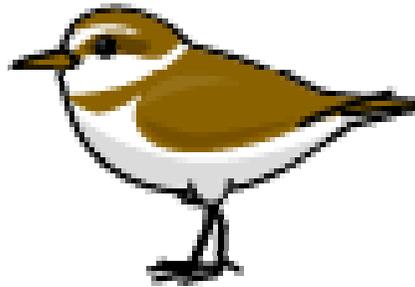


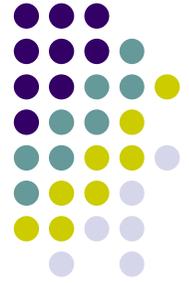
# これからの 食の安全・安心情報提供活動について



平成24年度第2回食の安全・安心地域リーダーステップアップ講座



平成24年3月8日 県庁第S101会議室  
農産物安全課食の安全・安心グループ



# はじめに

- 昨年2月、食の安全・安心地域リーダーの制度が平成24年度で終了することをお知らせしました。
- そのため、今年度のステップアップ講座は、皆さんが制度終了後も「活動」を継続するために必要なことをテーマに実施しています。
- 「活動」とは、食の安全・安心に関する情報提供をグループや個人で行うことを想定しています。
- 「“活動”と言うほどのことはしない」という方も今日の話を決かの考にしていただければ幸いです。



# 目次

1. 地域リーダーの情報提供とこれから・・・p4
2. 情報提供の手法・・・p15



# 1. 地域リーダーの情報提供とこれから





県が「正しい」としていること

地域リーダーとは

「食についての情報を**正しく**理解し、  
県民の身近なところで  
食の安全・安心について  
**わかりやすく情報提供できる人材**」

(食の安全・安心地域リーダー要綱より)

情報提供は地域リーダーの活動の根幹



まずは、これまでの活動から見えてきた課題について。

個人で、またはグループで様々な活動をしてきた地域リーダー。

しかし、こんなことも…



## 事例①

県の考えと私の考えは違うの。  
でも、地域リーダーとして活動する時  
は県の考えから外れたことは言えない  
から我慢しているんだよね。



しろちどりちゃん(県の代弁者)



## 事例②

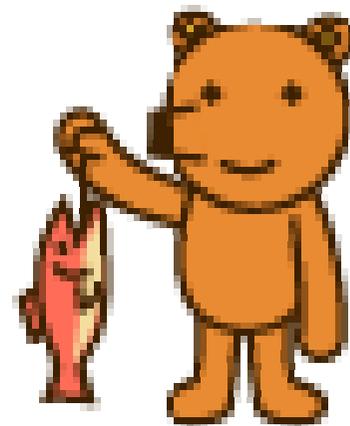
食の安全・安心地域リーダーのイベントに  
ようこそ！  
これは防腐剤などの食品添加物を一切使っ  
ていないから安全・安心だよ。

県は食品添加物は安全だと考え  
ているし、食品添加物の分類に  
「防腐剤」というのはないよ





県の考えとリーダーの考えが違う場合、  
どうしたらいいのか...





皆さんが1番したいことは、  
**自分の意見を他の人に伝えること**  
**(そして、できれば共感してほしい)**  
だと思います。

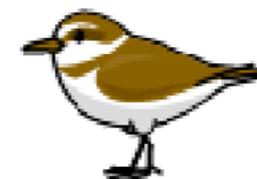
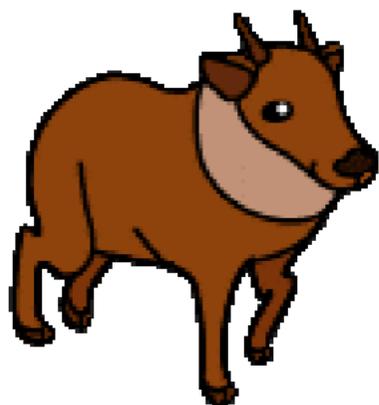
**これからは、県の考えを気にせず  
自分の意見を伝えてください。**





自分の意見を伝えればいいと言われても、どんなことをしたらいいか分からないよ。  
調理実習とかをすればいい訳？

何をするか考えるには  
いままでやってきたことが基礎になると思うけれど、例えば...





## (例)

大学や企業とコラボしてイベントを開催したんだけど、参加者が300人も集まって、盛況だったわ。  
講師の先生ともお知り合いになって、今度一緒に新しい企画始めるんだ。

すごいなあ。  
ぼくにはとてもできない。  
したいとも思わないけど。





友達に話すくらいなら  
いつもしてるけど

どんな情報をどんな人にどうやって伝えたいかは  
人それぞれだし、

**そこに優劣はないから**

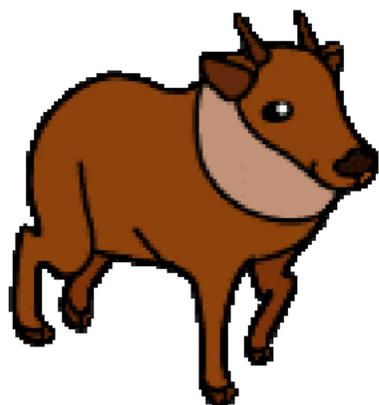
**自分がしたいことをしたらいいと思います。**



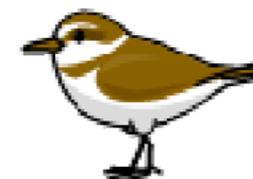
(おまけ)

こんな場合は…

自分がしたいことが  
分からないよ



それは自分で見つける  
しかないんじゃない？





## 2. 情報提供の手法





# 情報提供の手法(の例)

- (1) テーマを決める
- (2) 情報を集める
- (3) 整理する

理解し、自分なりの考えを持つ

～～(人に伝える必要があるとの判断)～～

- (4) 伝える

伝えられてスッキリ、満足

～～(伝えてスッキリ、で終わりにしない)～～

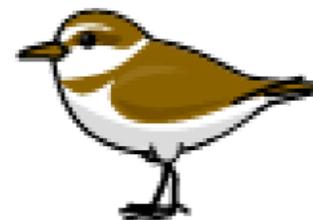
- (5) 相手の感想を聞く

思わぬ意見が聞けるかも



「テーマ」「伝える相手」「伝える方法」が最初から決まっていれば、わりと迷わずに進められるけれど、とりあえず始めてみて、やりながら考えてもいい。

※6月のステップアップ講座でも「まずはやってみる」というようなことをお話ししましたが、始めてみて、自分には合わないと思ったら方向修正したらいいと思います。





# (1) テーマを決める

「農薬は安全か」とか  
「台所を清潔に保つには」  
とか

## 決め方の例

- ①自分が興味をもっていることの中から選ぶ。
- ②自分のやりたいことを決め、それを通じて伝えられる情報は何かを考える。

### (例) 豆腐を手作りしたい

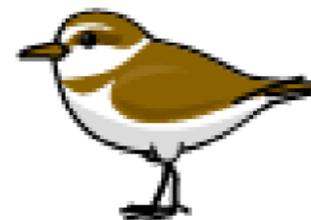
- 豆腐づくりを通じて伝えられることを考える
- 手洗いの重要性、食品添加物の役割等
- みんなで豆腐作りをしながら手洗いを実践する



大きいテーマを選ぶと  
扱う範囲が広がって大変  
だけど、やりがいはあるよ。

(例)

テーマ「食の安全・安心」の中には  
食品の安全性とその安全性に対  
する信頼に関する様々なことが含  
まれます。





## (2) 情報を集める

- 自分が手を伸ばせる範囲で集める。誰かと一緒に行くと手が届く範囲が広がる。
- 情報集めはきりがないので、ある程度満足したら一旦終わる。更に情報が必要と思ったら再開する。
- できるだけ元情報にあたる。間に人が入るとそれだけ情報に人の意図が介入する。
- 自動的に情報が入ってくる仕組みを作っておくと便利。(定期購読、みえエクスプレス等)
- 無料の情報と有料の情報がある。(フリーペーパー、有料会員向け情報等)



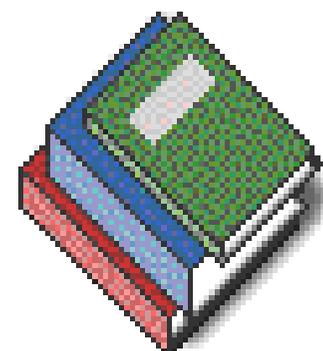
# 主な情報収集方法

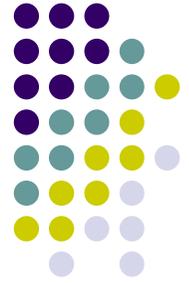




## ①本や新聞、テレビ、DVD等

- 本やテレビの情報が常に正しいとは限らないので注意。(これはインターネットなど他の情報源も同じ)
- 図書館は複数の新聞、雑誌等を読み比べられるのが魅力。

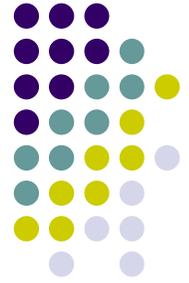




## ②インターネット

- 現状では手軽さと情報の多さ、新しさはNo.1。
- 論文や公文書等の一次情報を比較的手軽に読むことができる。
- ニュース、話題等について他の人の感想を読んだり話し合ったりできる。





### ③人に聞く(取材)

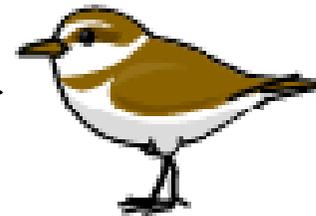
- 知り合いに聞く
  - 企業などに電話やメール等で問い合わせる
  - 専門家などに聞く
- 
- ・自分が聞きたいことを直接聞くことができる。
  - ・下調べしてから聞くこと。(企業ホームページ等で調べて、それでも分からなかったら問い合わせる)
  - ・聞いた内容の活用方法について情報提供者に了承を得ること。

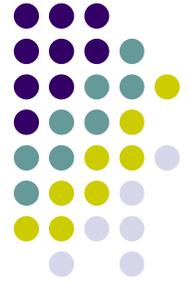


## 人に聞く際の注意点

- 相手がわざわざ時間を割いて対応してくれているのだということを忘れず、失礼の無いように心がける。
- 「知ることは消費者の権利、企業は自分が期待している回答をして当然」という態度は×
- 自分が一番聞きたいことであっても、最初に相手を否定する質問をぶつけるのは×
- 取材を断られることもあるかもしれないが、相手を恨まない。

下調べが必要だし、取材した内容をまとめるのは大変だけれど、他にはない情報が得られるのは魅力。





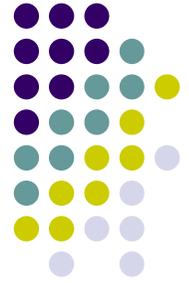
## ④その他

- アンケートを実施する
- 自分で実験、調査等を行う
- 講演を聞いたり、研修・講座を受講する
- 大学、専門学校等で学ぶ など



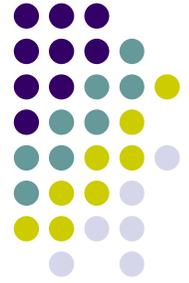
## 情報収集の注意点

- 情報は編集加工されたものが多い。なるべく元情報にあたる。
- 誰が出している情報なのかを気にすること。
- 自分と同意見の情報を集中して集めて、満足してしまう危険がある。反対意見も気にすること。
- 賛同者が多い≠その意見が正しい
- 情報をたくさん集めると、それがどこに載っていたのか分からなくなることがあるので、どこで見つけたものかメモしておくとい。



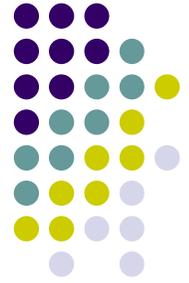
### (3) 整理する

- **自分の考えをまとめるために整理する。**
- 集めた情報によって、頭の中で自分の意見がまとめられればOK。他の人に説明できるレベルでなくてもいい。**(例)「私はこっちの意見に賛成だな」**
- レポートを書く等、目に見える形でまとめた方が満足できるならそうする。各人の好みで。
- 情報を伝える相手と伝える方法が明確なら整理しやすい。
- 情報を整理した段階で、伝えるかどうかの最終判断をする。(もっと早い段階で決めてもいい)



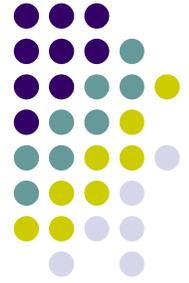
# 情報整理の注意点

- 集めた情報の真偽を判断するのは自分自身。  
「〇〇さんが言っていたから」「〇〇新聞に載っていたから」「なんだか信じられる気がするから」等々理由は何であれ、正しいと判断したのは自分。
- 集めた情報はひとまとめにして一定期間は保存しておく。保存期間に目安はないが「1年たったから見直して、今後也使わないと思ったものは捨てる」等、自分なりの基準を持つ。



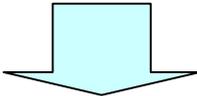
## (4) 伝える

- 情報を伝えるということは、自分の考えを伝えるということ。
- 伝える情報を自分で選択できる。伝えないという選択肢もある。
- 情報の出典も伝えること。(相手がその情報についてさらに詳しく調べることができるようになる)



# 情報を伝える方法

情報をどうしたいかによって伝える方法を変える。

- 誰に伝えたいか  
(例) 知り合い、不特定多数の人、子ども、大人
- 相手にどうなってほしいか、相手とどうしたいか  
(例) 意見交換したい、知識として知っておいてほしい  
身につけてほしい
- どのような方法がいいか   
(例) 人を集めて(又は人が集まる場所に赴いて)伝える、  
記事を作成して見てもらう、体験してもらう



「伝える方法」は、自分がそれをやりたいかどうかも重要。

今まで自分が情報を受ける側として体験してきた講演会、研修会、情報紙等の方法から自分にあったものを選んでやってみては？

情報提供することが目的でなくても、いいと思います。

(例) 同年代の女性と、おいしくて安全・安心なものを作って食べて、知り合いを増やしたい



参加者が集まりそうなメニューやそこで伝えられる食の安全・安心情報を考える





# 伝えるために情報を加工する

- ①整理した内容から相手に伝えたいことの柱(これだけは知っておいてほしいこと)を決める。

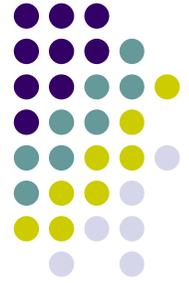
※柱が多いと情報過多になって、かえって伝わらないので、柱は1つにする。必要ならば増やしてもOK。

(例)・農薬は適正に使用すれば安全

・食品表示のうち栄養成分表示の読み方

- ②柱を補強する情報を加える

- ③情報の出典を添える



# 情報を伝える際の注意点

- 著作権に注意。引用のルールを守る。
- 自分の発言に責任を持つ。情報の元が著名人だったとしても、その人の言葉を正しいと信じ、且つ人に伝えるべき情報だと判断したのは自分。
- ネガティブな情報は相手に強烈な印象を与えるので取り扱いに注意する。



## (5) 相手の感想を聞く

意見交換や、アンケートなどで感想や疑問点を聞いてみましょう。

(例)

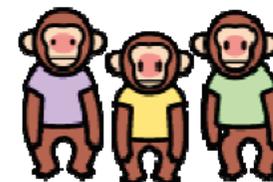
農薬は適正に使用すれば安全なんだ。適正使用が守られるために、企業や生産者はこんな取組をしているんだよ。



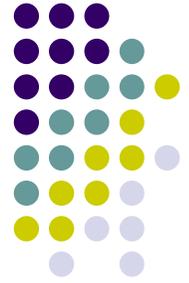
へ～  
知らなかった

その取組でほんとに十分なの？

ちょっと安心したわ



# さいごに



普段、テレビや雑誌で見たことを家族や友達に話したりしませんか？それも情報提供です。

「〇〇は体にいい」「△△は体に悪い」と話す前に、その情報が本当か一度考えてみてください。それが、**食についての情報を正しく理解する**第一歩だと思います。

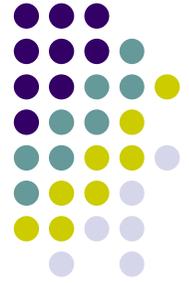




★おまけ★  
自ら主催したイベント等で参加者（消費者）  
とコミュニケーションを図る方法

ご要望があったので  
例をご紹介します





## ★重要なこと

- **なんのためにコミュニケーションを図りたいのか**を自分の中で明確にしてから臨む。理由は一つでなくてもいい。

(例) その場を明るく楽しい雰囲気にしたたい。友達になりたい。仲間になってほしい。意見を聞きたい。議論したい。

- **情報がほしいだけの人にコミュニケーションを強要しない。**

※その人に情報を伝えられただけで良しとしてください。ノリが悪いとか非協力的とか暗いとか言わないでください(お願い)



## ★交流に意欲的な人を多く集めるには

参加者募集の際、主催者の意図やイベントの内容を具体的に表明する。

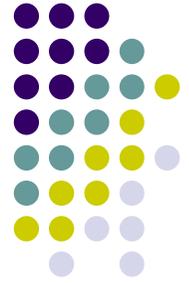
(例) みんなでおしゃべりしましょう。意見交換をします。

## ★しゃべりやすい場を用意する

(例)・明るい会場(にぎやかに飾り付るといいらしいです)

- ・お茶やお菓子を用意する
- ・カジュアルな服装で参加者を迎える
- ・主催者側から積極的に話しかける
- ・みんなのできるゲーム仕立ての内容にする

# ★イベント中、方向転換すべき状況



- 一部の人だけが話している

多くの場合、批判的な発言や自分語り※なので、他の参加者はうんざりしてしまう。適当なところで司会が介入して終わらせる。

※「自分自身のことについて、大抵の場合、誰にも聞かれていないのに、勝手に)語ってしまうこと」(はてなキーワードより)

- 意見交換の時間に意見が全く出ない

どうしても意見がほしい場合は、答えやすい質問をしたり、司会が当てたりして意見をもらう。

司会の人、がんばって！  
難しいならプロに依頼して





以上です。  
ご清聴ありがとうございました！

